

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和4年度）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「取組状態・自律度の状況把握シート」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

| 評価 | 左記の理由 |
|----|---|
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・依然として新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動が制限された一年であったが、地域活動の再開に向けて、各地域及び関係諸団体へのアンケートやヒアリングを定期的を実施するなど、地域の運営や活動を積極的に支援できている。 |

2 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

| 評価 | 左記の理由 |
|----|--|
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・重点施策として、令和3年度に引き続き、コロナ禍における地域活動や地域活動協議会（以後、「地活協」という。）の組織運営に係る助言、指導、相談業務を地域づくりアドバイザーに取り組んでもらった。 ・地域活動に対する新たな担い手を発掘していくため、地域活動になじみの薄い層に対し、効果的に情報発信を行うための広報講座の開催やICTを活用した地域の情報発信等の支援に取り組んできた。 ・また、地域活動協議会のこれまでの振り返りと昨年度に実施した「10年後の地域につなげるインターネットアンケート」の調査結果を広報紙に掲載し、新たな担い手づくりや、持続可能な地域活動に繋げるためのヒントとするとともに、地域活動協議会の仕組みの認識や重要性の共有をおこなった。 ・また、前述のアンケート結果を踏まえ、「東淀川みらいE X P O」を2回開催し、1回目は、女性×防災をテーマに動画を作成し、区公式YouTubeでの配信をおこなった。2回目は、各種団体・企業等とのつながりをつくるため、「東淀川LOVER's博覧会」として、直接的に人の交流を深め、展示やワークショップを行った。 ・ただし、多くの地活協において、地活協を構成する団体以外との連携が進んでおらず、企業等連携を進めることについて、情報発信と場づくりが、繋がり拡充のために必要な支援であり、引き続きの取組をお願いしたい。 |

3 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) その他の効果のあった内容

| 評価 | 左記の理由 |
|----|---|
| B | <ul style="list-style-type: none">・地活協の構成団体が、地活協に対する地域の実情やニーズに即した地域づくりアドバイザーの支援が実施されていると思う割合 70.5%（令和3年度 69.5%）・地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が地活協により自律的に進められている状態にあると思う割合 82.2%（令和3年度 79.9%） |

4 総合評価【全体】

| 評価 | 左記の理由 |
|----|---|
| B | <ul style="list-style-type: none">・区役所主催の連絡会議にオンライン参加される地域が定着してきたこと、コロナ禍においても地域活動が行われてきたことは、地域づくりアドバイザーによる支援の成果である。・地域活動協議会の設立期から地域役員も大きく代わってきている。令和5年度は、改めて地域活動協議会の意義や活動内容を再確認し、持続可能な地域活動になるよう、地域に寄り添った支援を行ってほしい。 |

（評価基準）

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。